Campus News 1

日本私立歯科大学協会 歯科プレスセミナーで 水田理事長が講演

2023年10月31日、アルカディア市ケ谷私学会館において日本私立歯科大学協会の第14回歯科プレスセミナーが開催され、水田祥代理事長が「女性歯科医師のキャリア構築と現状」をテーマに講演しました。水田理事長は、自身の経験を基に「これから女性歯科医師を目指すリケジョ(理系女子)の皆さんには、キャリアアップを図り、積極的に意思決定の場にも参加して豊かな人生を送ってほしい」と話し、「来たれリケジョ!!」と歯科大学における女子学生の獲得を呼びかけました。

また、水田理事長は現役で活躍する女性歯科医師とのパネルトークでコーディネーターを務めました。パネルトークでは、女性歯科医師3名からそれぞれのキャリアパスとライフステージについてお話しいただき、働き方の実態やキャリア構築の方法、女性歯科医師がさらに働きやすくなるための環境整備などについてそれぞれの立場から意見を述べられました。

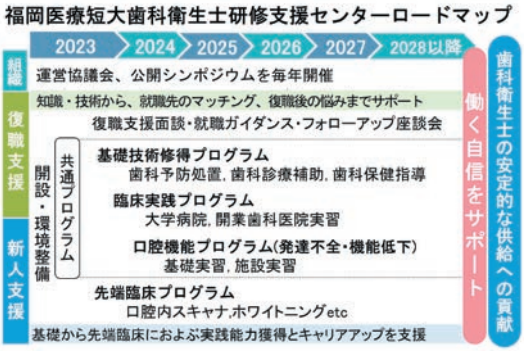
Campus News 2

福岡医療短期大学が厚生労働省補助事業「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の実施団体として選定

福岡医療短期大学が歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業の実施団体として厚生労働省から選定されました。

この事業は、歯科衛生士の人材確保を目的として、育児・介護等によって離職していた人材の復職支援や、免許取得直後の新人に対する基本的な臨床実践能力の獲得と離職防止を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による臨地実習の経験不足を補うものです。

福岡医療短期大学では、「歯科衛生士研修支援センター」を立ち上げ、福岡歯科大学、医科歯科総合病院、歯科大学ならびに短期大学同窓会とも協力をしながら、福岡県・市歯科医師会および福岡県歯科衛生士会と連携して、臨床現場での体験学習型の研修等を実施し、歯科衛生士の人材育成に貢献していきます。2024年3月から順次研修プログラムを開催し、3月7日には「口腔内スキャナーを使いこなそう」、3月17日には「小児からの口腔育成」をテーマとした研修会を行う予定としています。



▲比嘉奈津美参議院議員(福岡歯科大学8期生)らと意見交換を行う水田理事長ら

Campus News 3

田口短大学長（常務理事）がミャンマーで医療支援

2023年6月に引き続き12月3日から8日まで、特定非営利活動法人ジャパンハートの要請で、田口 智章福岡医療短期大学長（常務理事）が、ミャンマーのヤンゴン小児病院で小児外科手術等の医療支援を行いました。

ヤンゴン市はミャンマー連邦共和国の南端に位置し、人口約600万人のミャンマー第一の都市です。国の総人口が約6000万人なので、国民の約10%がこの都市に住んでいます。小児病院はヤンゴン市内のヤンゴン小児病院とヤンキン小児病院、ヤンゴン市の北800kmにあるマンダレーの小児病院の3か所しかないため、比較的スタッフの揃ったヤンゴン小児病院に小児患者が殺到しています。加えて、小児外科医をはじめとした医療スタッフの不足により、急患手術の対応で予定通りに手術を行うことができない状況が続いています。

こうした状況の中、田口学長らは、まず肝移植した3例の診察を優先し、他の検討を要する患児（肝腫瘍や胆道閉鎖）のコンサルトを受け、胆道閉鎖症3例の手術を行いました。田口学長は「胆道閉鎖症は術後2日目に濃緑色便がみられ胆汁排泄が確認されましたので、これで救命できそうと胸をなでおろしました。ミャンマーでは胆道閉鎖症の診断が遅いので、このように早期診断・早期手術できると予後が良いことを示すことができました。また、今後の歯科チームの活動に備え、ヤンゴン小児病院の小児歯科の教授とコンタクトを取り、肝移植患児の口腔内写真を撮影していただきましたが、肝移植して黄疸は下がっているものの歯には着色が残っていたので、今後の課題です。病院長が血液がん患児の口腔内ケアを希望され、次回は歯科医師や歯科衛生士・短大学生を帯同し、移植後の患児や小児がん患児の口腔ケアや歯磨き指導を行いたいと思います。教員や専攻科生の中には参加意欲の高いメンバーが揃っていますので、今後も活動の幅を広げていきます」と話しました。

また、ヤンゴン小児病院では、学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念歯ブラシ200本を日本から持参して医療スタッフに寄贈しました。

▲胆道閉鎖症の手術をする田口短大学長（左）
猪股熊本大学名誉教授に加えて現地若手医師が手術参加

▲小児外科教授Dr. Nyo Nyoに学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念歯ブラシを寄贈

▲左からDr. Yin Mar Oo（小児外科）、猪股名誉教授、田口短大学長、病院長Dr. Aung Tun Oo、小児外科教授Dr. Nyo Nyo

術後濃緑色便

術前灰白色便

▲肝移植症例3
（移植後4年）

▲肝移植症例2
（移植後4年8カ月）

▲肝移植症例1
（移植後5年8カ月）

肝移植患児の口腔内写真：黄疸は下がっても、歯の着色は顕著

▲小児歯科Zarchi Wint教授と
肝移植患児の診察

▲歯科用診療物品を寄贈

写真：ジャパンハート提供